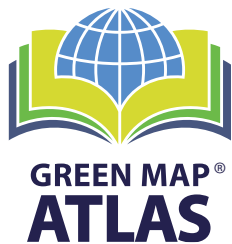


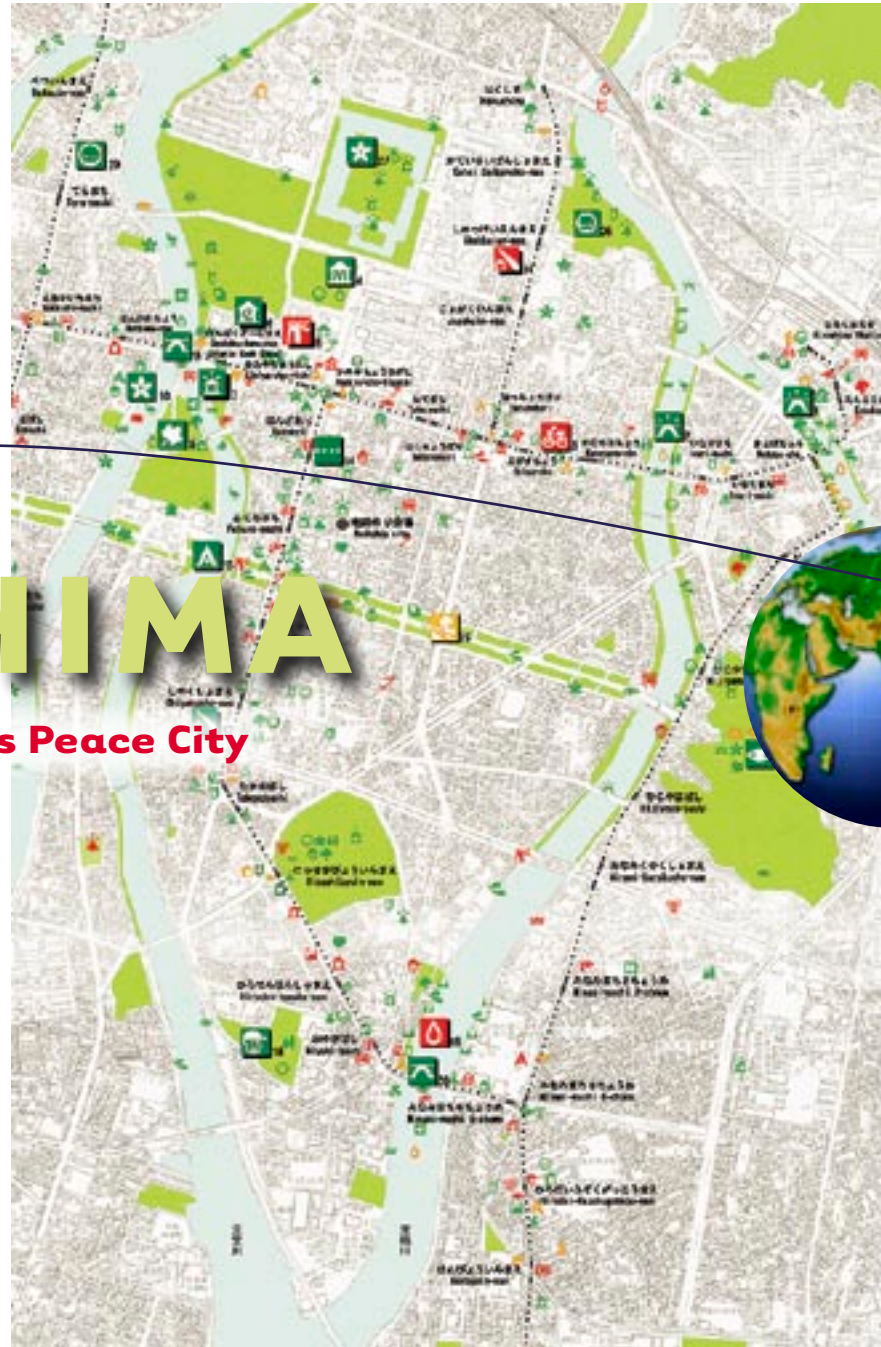


HIROSHIMA

Green Mapmaking in Japan's Peace City



グリーンマップ・システムは、世界各地で制作される自然・文化環境のマップを通して、地域の持続可能性や市民活動を応援する非営利団体です。

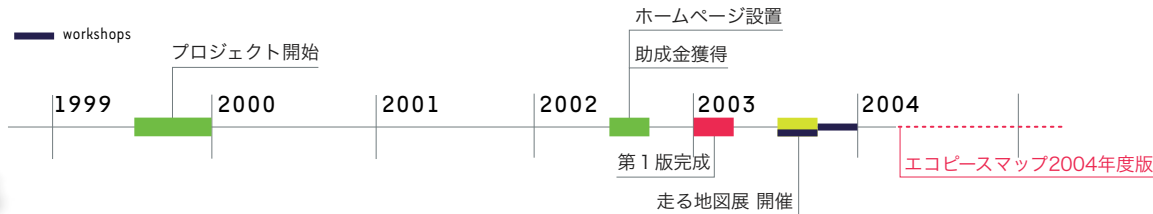


はじめに

Hiroshima · Japan
 Hiroshima Ecopeace Map
<http://home.hiroshima-u.ac.jp/ecopeace>



広島エコピースマップ詳細(歴史編)



ひろしまエコピースマップは、住んでいる場所に愛着が芽生え、過去から未来へつながる都市デザインを発信するために作られた環境地図だ。地図作りを通して、私たちは広島の「人も地球も楽しい」場所や「古いもの」と「新しいもの」が繋がっている場所を発見しながら、地球の中の広島の特徴を考えていった。

ひろしまエコピースマップには、10才の小学生から75才のシニアまで参加している。ひろしまエコピースマップはローカルかつグローバルな感性、地域の自然や歴史に関する感性をまちのみんなで(キッズからシニアまで)育てていく活動だ。そして新しい「平和」のメッセージを平和都市「ヒロシマ」から発信していきたいと思っている。

平和な世界を守っていくためには、戦争をしないようにすることが何より大切だ。しかし現在、このまま人類が生き続けることができるかどうか、私たちはわからなくなってしまっている。だからこそ、考え方の違う人がたくさんいる世界の中で、「ちがいを乗り越えて、「平和」とは何かを考えることが必要なのではないか。今までの様に不要になったものを簡単に捨ててしまうのではなく、リサイクルの考え方をとりながら、本当にずっと住み続けることのできる「ひろしま」

とはどのようなものかを考えていく。そして、それは「平和」を考えることにつながる。では、まず始めに、古くて新しい地球環境時代の都市の乗り物、路面電車から見えるまちの地図を作ることから始めよう。路面電車が楽しいまちヒロシマ。それはとてもヒロシマらしい、と私は思う。

さあ、みんなで路面電車の楽しいまち「ひろしま」にしていこう。

マップデーター

- ・ 使用言語: 日本語
- ・ 版数: 2
- ・ 地図形態: 印刷物、ウェブマップ
- ・ 収録サイト数: 685
- ・ グローバルアイコン使用数: 58



広島の4個のローカルアイコン

マップ制作

Hiroshima · Japan

Hiroshima Ecopeace Map

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/ecopeace>



5000 maps printed

ひろしまエコピースマップはフィールドワーク+ワークショップ/展示/オープンカフェと名付けられた話し合いのサイクルで作られた。まず、フィールドワークでは、路面電車に乗って、都市の環境の○とXを調べた。ワークショップでは、緑(環境の○)、赤(環境のX)、黄色(環境の○Xの判断が付かない、○Xの意見が分かれる)の三色で作られたアイコンを用いて、各グループでマップを作った。興味深いことに、大人たちには「緑」とされる場所も、子どもたちには「赤」であったり、逆のこともある。

出来上がったマップは、8月の平和祈念式典(原爆投下日)と終戦記念日の期間に、被爆電車とグリーンムーバ(超低床車両)の車内で発表する。この「走る地図展」には「市民参加編」のオプションがあり、一般市民の人々が自由に参加できるオープンワークショップ型の展覧会も同時開催となっている。

ひろしまエコピースマップは、歴史編と現代編からなり、両者とも広島のパノラマからの風景を表現した地図である。歴史編は、戦前に路面電車の運転手をされていた藤井照子さんの記憶の風景をもとにしている。今後様々な戦前の風景がアイコンを使っ



(左から)
広島エコピースマップ現代編(2004年印刷)
広島エコピースマップ歴史編(2004年印刷)
ワークショップで作ったマップをみんなで見て比較する。



て表現されていくことだろう。反対に現代編は、一連の循環作業の成果がまとめられている。厳選された30の「これからもエコピースであってほしい場所」、「これからエコピースになってほしい場所」が掲載されている。この現代編はトレーシングペーパーに印刷されており、歴史編と重ねてみたり、将来のVersion 2004, 2005と重ねて見たりすることで、まちの変化が読み取れるようになっている。

テクニカルデータ

ソフトウェア:

Adobe Illustrator
Macromedia Dreamweaver
Adobe Photoshop

ハードウェア:

Macintosh workstation
Trams
Digital cameras
Color printers and projectors
Handmade fieldwork map folders

紙質:

Recycled and tree-free, tracing paper

地図形態とサイズ:

Folding map with translucent layer
· A2 (59.4 X 42 cm / 23.4 x 16.5 in)

チームワーク

Hiroshima · Japan

Hiroshima Ecopeace Map

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/ecopeace>

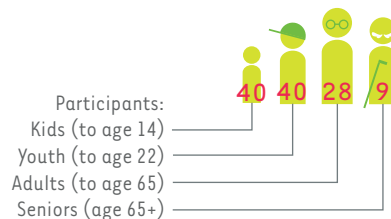
ひろしまエコピースマップは、大学・小学校、行政、企業、一般市民が一体となって制作されている。ひろしまエコピースマップには、10才の小学生から75才のシニアまで、様々な時代の「ひろしま」を体験した人が参加し、一緒になってまちの未来の姿について考えながらマップを作っている。

大学・小学校としては広島大学大学院工学研究科の千代章一郎助教授をはじめとし、教育学研究科の山崎晃教授、広島大学附属小学校の關浩和先生と担当クラスの児童40名、広島大学大学院生木原一郎君をリーダーとする大学生・大学院生のサポーターが中心となっている。また広島大学の竹崎嘉彦助手、匹田篤助教授などそれぞれの専門分野の方々の協力も得ている。

大学外では、都市計画の専門家として実務をされている建設コンサルタンツ協会中国支部技術委員会道路部会景観研究の方々にも実践の経験をもとに様々な意見をいただいている。



Partners, Advisors and Board members: 30



3色のアイコンカードは必要 >>
なだけ刷り、余ったら再利用リサイクルされる。



<<都市計画専攻の学生がフィールドワークで発見したことを討論する。



大学生の助けを借りて、小学生たちは電車に乗り込み、市内調査を行う。



主なサイトを見て記録する4年生の参加者。

制作費

Hiroshima · Japan

Hiroshima Ecopeace Map

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/ecopeace>

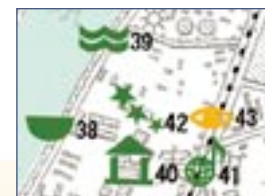
ひろしまエコピースマップでは、継続して活動していくために、ボランティアを基本にしている。建設コンサルタツ協会が参加するのに伴い、その共同研究活動資金を支援していただいております、ワークショップの会場は広島市関連施設や広島大学附属小学校など市の施設を使っている。

また、広島ゼロックス株式会社、広島電鉄株式会社、住友3M株式会社の三社には、資金的協力、ワークショップの人員動員や企画に関する意見や提案もいただいている。広島電鉄株式会社からは広告掲載や展示会場としての車両内の広告スペースの提供、展示会場となった車両の関連では外装素材を住友3M株式会社にも支援していただいた。広島ゼロックス株式会社には、広報用のポスターやアイコンポスターの印刷費用、ワークショップ時のプロジェクターやプリンターなどの機材や人材まで幅広く支援していただいている。

地図は、参加者には無料で配り、主要な書店では100円で販売する。私たちのウェブサイトは、これから2年かけて、広島の過去と現在の写真を掲載していき、環境学習のツールとして活用できるようにする予定だ。



(上から)グリーンムーバ(電車)内部の様子--街の中を移動しながら展示する「走る地図展」。「被爆電車」の中では、ワークショップで紹介したグリーンマップ、写真、アイコンなどが展示された。「走る地図展」には、世界のグリーンマップも展示された。



広島エコピースマップと広報ポスターに表したグリーンマップアイコン。



これらのアイコンは全グリーンマップに共通に使われている

エコノミックデーター

制作主体: Non-profit grassroots group

資金源:

Grants, sponsorship, in-kind

主な支援団体:

Hiroshima Xerox Co., Ltd

Hiroshima Electric Railway Co., Ltd

Sumitomo 3M Ltd

専任スタッフ: 1

頒価: 100 yen, but some were provided free

派生プロジェクト: Youth mapping resources

評価

Hiroshima · Japan

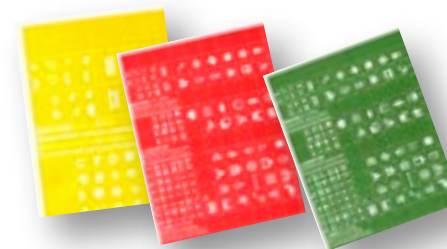
Hiroshima Ecopeace Map

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/ecopeace>

ひろしまエコピースマップは様々な人が参加して、それぞれの「まち」への感性を反映させてつくる地図である。そのため、ひろしまエコピースマップのアイコンやサイトの選定には、科学的根拠よりも個々の感性が重視されている。例えばマップの現代編において、特別に取り上げられている「エコピースサイト」はワークショップやオープンカフェでの議論やプレゼンテーションを重視して選んでいる。今後は感性が表現されている地図づくりと平行して、環境の科学的データも随時収集・蓄積を行っていく。

私たちはまた、歴史への感性をみかくことにも取り組んでいる。これは歴史への感性が都市の未来の姿を思い描くのに欠くことができないものだと思えるからだ。歴史編をつくることもその試みのひとつだが、様々な世代の人が協働することを通して、現代編は歴史的な気付きというものを掘り起こそうとしている。例えば子供達が、年輩の方々の視点に触れることで、自分自身の歴史への感性を高めることもできる。今後は、シニアの生涯学習へ活動を広げていく予定である。

(左から)エコピースマップの広報ポスター。ワークショップで使用したアイコンには色で○、×、△の意味の段階を付け加えた。



私たちは、子どものためのグリーンマップシステム・アイコンを編集したり、都市の環境学習のホームページを作成したりして、教育キットの学術的研究開発にも取り組んでいる。そのすべては、人々の空間的・時間的感性をより豊かものとするを念頭に組み込まれている。

エコロジーとは「人と地球の楽しい関係」だ。まちの景観の中で「古い」と「新しい」はつながっている。過去から未来へ、歴史との楽しい関係もエコロジーなのだ。



(上から)ワークショップでアイコン、スケッチ、メモなどで記録した様々なグリーンマップ。調査では、特別に用意されたベースマップに「いい」場所、「悪い」場所を配していく。シニアグループはデジタルカメラで重要サイトを記録した。

むすび

Hiroshima · Japan
Hiroshima Ecopeace Map
<http://home.hiroshima-u.ac.jp/ecopeace>

ひろしまエコピースマップのユニークなところは、歴史編と現代編で構成されていることだ。歴史の上に絶えず変化をつづける現代の都市を重ねてみることで、都市の変化を捉えることができ、未来の「ひろしま」を考える事ができるようになっている。

ひろしまエコピースマップは、みんなのためのものである。様々な世代の人たちが、それぞれグループを作ってマップを作り、最終的にひとつの地図を完成させる。エコピースサイト以外のマップに散りばめられた小さなアイコンは、参加者それぞれの感性が反映されている。

“私達は戦前のことをもっと知りたいと思いました。そして、聞きたいいろんな話をグリーンマップを通して、子孫や全世界の人に伝えてゆきたいです。”

－ワークショップの時に歴史編を見た子どもたちのコメント

“ひろしまエコピースマップの報告書をありがとう。我々の学生には非常に興味深いものです！”

－オーギュスタン・ベルク教授(フランス社会科学高等学院)

“私は最初、みなさんにもうお教えすることがないと感じたのですが、参加させて頂いて本当に良かったと思います。”

－藤井照子さん(戦前の路面電車の運転手で歴史編の制作協力者)

街は常に変化していく生き物だ。ひろしまエコピースマップの現代編での「エコピースな場所」は、その年の「エコピース」を表現していて、新しく現代編がつくられる時には、アイコンの種類もカードの色も異なるかもしれない。そんな「エコピースな場所」には、私たちの希望が含まれる。赤の場所は緑の場所への希望だ。夢は、今現在参加してくれている子供達が、エコピースなメッセージを語り継いでいき、未来の「ひろしま」の姿を考えるため、シニアとして(新しい子供達と一緒に)参加してくれることだ。私たちはそのような日が来るまでこの活動をずっと続けていこうと思っている。



第二次大戦中被爆した京橋は歴史もあり、電車からも見える。



和台通りの並木道は、クルマより歩行者が多く、市民の憩いの場である。



「走る地図展」では電車の内外にグリーンマップを展示し、原爆ドームの前を走り抜けた。



(左から) 調査会でデータを記録する皆さん。広島名物お好み焼き店での模様。

クレジット

広島ストーリー監修:
千代章一郎
広島エコピースマップ
〒739-8527 東広島市鏡山1丁目4-1
広島大学大学院工学研究科
tel: 0824-24-7834

All map, web and promo images © Hiroshima
Ecopeace Map
Other Photos:
Shoichiro Sendai and Green Map System



◀◀ 広島教育大学附属小学校
の熱心な参加者たち。



マップの申し込みは?

email: sendai@hiroshima-u.ac.jp
or visit the online store at
www.greenatlas.org

www.greenmap.org, グリーンマップ・システムの
ホームページ: 世界中の全てのグリーンマップ・プロジ
ェクト、グリーンマップ・アイコンポスター、ユースマ
ップ制作ツールなどがいくつかの言語でご覧になれ、リ
ンクしており、持続可能なこの活動への参加のお誘い
も掲載しております。



© Green Map® System, Inc. 2004
PO Box 249, New York, NY 10002 USA
info@greenmap.org